

ゆび募金 だより



No.

10

会報 第10号



株式会社 アカカベ

株式会社 アカカベ
代表取締役: 皆川 友範
所在地: 大阪府大東市明美の里町1-71

事業のご紹介

弊社は本年創業 60 周年を迎え、創業以来地域貢献を会社理念として地域に愛される企業を目指し、地域の皆様と密接な連携を図っております。大阪府の東北部にて集中的にドミナント展開を推し進め、ドラッグストア 40 店舗、調剤薬局 22 店舗、フィットネスクラブ 2 店舗を出店し、地域の皆様のヘルスとビューティのトータルサポートを目指しております。

心のケアもサポート

行政ともタイアップし、ドラッグストア・調剤薬局・介護在宅医療・フィットネスクラブを基軸に地域イベントにも積極的に参加し、外部団体と

協力して地域の皆様の心のケアをサポートしています。心のケアに関しては、NPO 法人マザーズサポーター協会と協力して行っており、ゆび募金への参加を決めたことで、少しでも浄財の協力をしたいと考えております。

地域の皆様が体も心も健康で、笑顔の輪を広げていけたら幸いです。



ドラッグストアアカカベ 津の辺店



支援者 のご紹介

2007 年からゆび募金を支援していただいている株式会社アカカベ様と今年 1 月から新たに支援の輪にご参加くださった川越救急クリニック様に、事業のご紹介とゆび募金への思いを語っていただきました。

24時間安心して医療が受けられる街に！

我が川越救急クリニックは、平成 22 年 7 月に埼玉県川越市に開業いたしました。他の医療機関の診療が手薄になる週末や休日の夜間に特化してオープンする、ちょっと変わったクリニックです。診療科目は「救急科」と聞き慣れない科目ですが、読んで字の通り・・・どんな病気でも救急対応をします。

ここ埼玉県は、マスコミでも繰り返し報道されたように、救急車の受け入れが非常に悪い県の一つです。同様に時間外に医者にかかろうとしても、軒並み受診を断られる・・・といった事態が日常茶飯事でした。

他地区に先駆けて、川越市を 24 時間安心して医療が受けられる街にしよう！そして今後、高齢化を迎える埼玉県が全国のモデルケースになれるような医療を行っていきましょう！というのが我がクリニックのコンセプトです。

子どもの安全のために寄付したい

縁あってこのたび「ゆび募金」に参加することになりました。我がクリニックにも子どもが事故で毎日来院していますので、子どもの安全に対して活動を行っている NPO に寄付がいくように、「NPO 法人子どものいのちを守る会」を寄付先にしました。

当院には 2 台の自動販売機があるのですが、来院するご家族連れの方々も、ゆび募金付きの自販機を積極的に利用されているようです。

一人ひとりが良い社会を作るために考え、活動する。我がクリニックもその一端を担っていきたいと思っています。



川越救急クリニック

川越救急クリニック
院長: 上原 淳
所在地: 埼玉県川越市古谷上大字古谷上1116-1

JK Report 寄付先の活動を知ろう！

特定非営利活動法人 マザーズサポーター協会

NPO 法人マザーズサポーター協会は、たくさんの方々に支えられながら、昨年 10 周年を迎えました。マザーズサポーターとは、関わる相手の自立を育む「自立型支援方法」を身につけた専門家です。人が主体的に生きていく力（自立した人の生き方）を発揮するにはどうしたらよいか、そんな人々が集まる組織や集団（自立した組織の動き方）を作っていくにはどうしていったらよいか。マザーズサポーターとして、社会に貢献できることを考え、「子育て」「医療福祉」「教育」「ビジネス」などの様々な分野で活動しています。

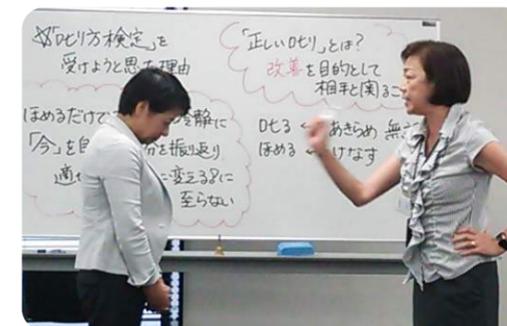
資格認定事業「叱り方検定」

相手のやる気を促し、改善につなげる「叱り方」を提案し、昨年度より「叱り方検定」事業として展開、メディアにも多数取り上げられています。

今年の秋からは「めざせ！子叱り名人」と題して、子育てに関わる全ての人に、叱り方のコツやポイントを体感していただく参加型セミナーを各地域で開催します。



朝日新聞より (2013.1.13)



人材育成教育普及事業 「教育プロジェクトたけのこ塾」

教育機関でのコミュニケーション授業を実施しています。「自立型支援方法」を身につけたサポーターが直接関わることで、常に「自立」という観点で場を運営し、プログラムの特徴である少人数グループディスカッション（＝こころ塾）では、当事者意識を高め、子ども達の生の声を扱います。そのことにより一人ひとりが未来に意識を向け、行動していくことを目的としています。



ニュースレター

育てる側に役に立つ「自立型支援方法」の情報やイベントのご案内などを発信しています。不定期の季刊誌としてHPや書籍では読めない情報を郵送でお届けできるように、メンバーで頑張っています。

マザーズサポーター協会の活動を益々充実させるために、みなさまのゆび募金を使わせていただいております。今後とも温かいご支援をよろしくお願いいたします。

URL : <http://m-supporter.com/>

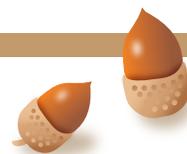
認定NPO法人 申請について

JK協会は現在「認定NPO法人」制度に基づき、認定を取得するべく準備中でございます。これは、NPO法人のうち一定の要件を満たすものについて、所轄庁が認定を行う制度です。

申請はまだ先になるかと思われませんが、今後協会としての仕組みが多少変わることもあるかと存じます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

これからも皆様に支援していただけるよう、透明性をますます高めながら、一人ひとりの善意をつなぐお手伝いを続けてまいります。

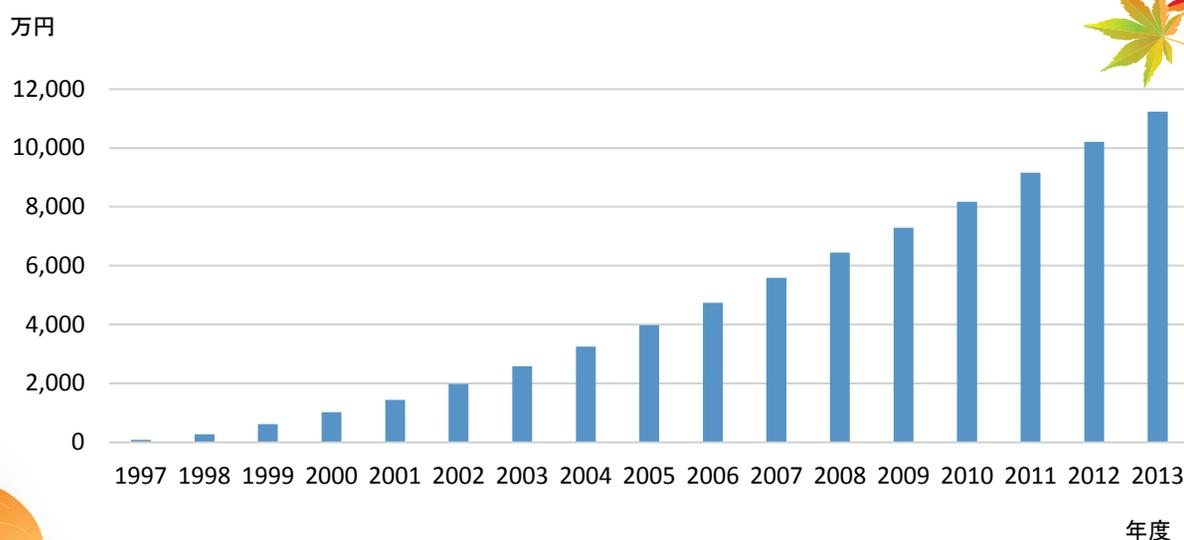
平成25年度寄付実績 (平成25年9月～平成26年8月)



期 間	寄付金額	寄付月
第1回 (H25.9月～12月)	3,497,283円	平成26年2月
第2回 (H26.1月～4月)	3,119,670円	平成26年6月
第3回 (H26.5月～8月)	3,585,048円	平成26年10月
年度合計	10,202,001円	

累計 112,305,611円(平成26年8月末現在)

累計寄付金額の推移 (設立～平成26年8月)



寄付に関する詳細はホームページをご参照ください。 <http://jkkyoukai.com/>

編集後記

猛暑だった夏も9月に入って急速に暑さがおさまり、すっかり秋の気配がしています。この夏は局部的豪雨により、各地で特に広島では大変な被害が出ました。被災された地域の方々には、心よりお見舞い申し上げます。

「今まで経験したことのない」「数十年に一度」そんな言葉が頻発する事態では、これまでの常識が通用しないこともあります。9月の防災の日には職場やご家庭の防災を見直しされましたか？日頃から防災意識を持つよう心がけましょう。

最後になりましたが、会報第10号の作成にあたり、ご多忙の中ご協力を賜りましたロケオーナー様、寄付先団体様に心より御礼申し上げます。(青木)

ゆび募金だより 会報第10号

発行日：2014年10月1日

発行：JK 特定非営利活動法人ジャパン・カインドネス協会

〒186-0004

東京都国立市中1-18-41 栄ビル301

TEL: 042-571-2233

FAX: 042-571-2263

Eメール: info@jkkyoukai.com

URL: <http://jkkyoukai.com/>